

I. 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

市政に関する市民の要望の経年的変化などを把握し、計画的な行財政運営の資料とする。

2 調査方法

(1) 調査対象者

武蔵野市内に居住する全世帯。世帯内の記入者については特に指定していない。

調査対象世帯数：約70,000世帯（平成23年9月1日現在）

(2) 調査内容

①「市政の中で今後、重点的にすすめてほしい施策」15項目のうち3項目を選択

②「市の取り組みを特に評価できる施策」15項目のうち3項目を選択

③「災害への備え・対策」7項目からの複数回答（新設）

④ 自由記述による意見・要望 ※調査票（アンケート用紙）はP9～10参照。

(3) 調査実施方法

全戸配布－郵送回収によるアンケート方式。

社団法人武蔵野市シルバー人材センターへの委託により、アンケート用紙を全戸に配布するとともに、市政センター、コミュニティセンター及び市役所市民協働推進課の各窓口でも配布し、記入済みのアンケート用紙は郵送で回収した。

(4) 調査期間

調査票配布：平成23年8月30日（火）～平成23年8月31日（水）

調査票回収：平成23年8月30日（火）～平成23年9月20日（火）

(5) 調査研究機関

株式会社総合企画（集計・分析）

3 回収結果

(1) 今年度回収結果

配布数（通）	回収数（通）	回収率（％）
70,000	8,362	11.9

(2) 過去5年間の回収結果の推移

年度	配布数（通）	回収数（通）	回収率（％）	自由記述（通）	記述率（％）
平成19年度	70,000	9,984	14.3	5,280	52.9
平成20年度	70,000	10,032	14.3	5,223	52.1
平成21年度	70,000	7,238	10.3	3,846	53.1
平成22年度	70,000	7,710	11.0	4,250	55.1
平成23年度	70,000	8,362	11.9	2,475	29.6

4 報告書の見方

- (1) 図表の中のNは回答者の総数。nは、性別、年代別、地域別の回答者数及び該当質問の各項目の回答数を表している。
- (2) 比率は、Nまたはnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのため、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答が可能な設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 図表作成の都合上、選択肢表記や回答の小さい比率は、短縮・省略している場合がある。

5 数の表現

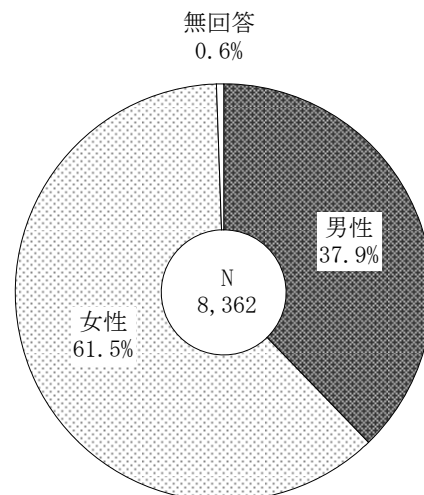
N = 調査対象者数

n = 各質問ごとの回答者数

6 回答者の属性

(1) 性別

	構成比 (%)	基 数
全 体	100.0	8,362
男 性	37.9	3,167
女 性	61.5	5,141
無回答	0.6	54



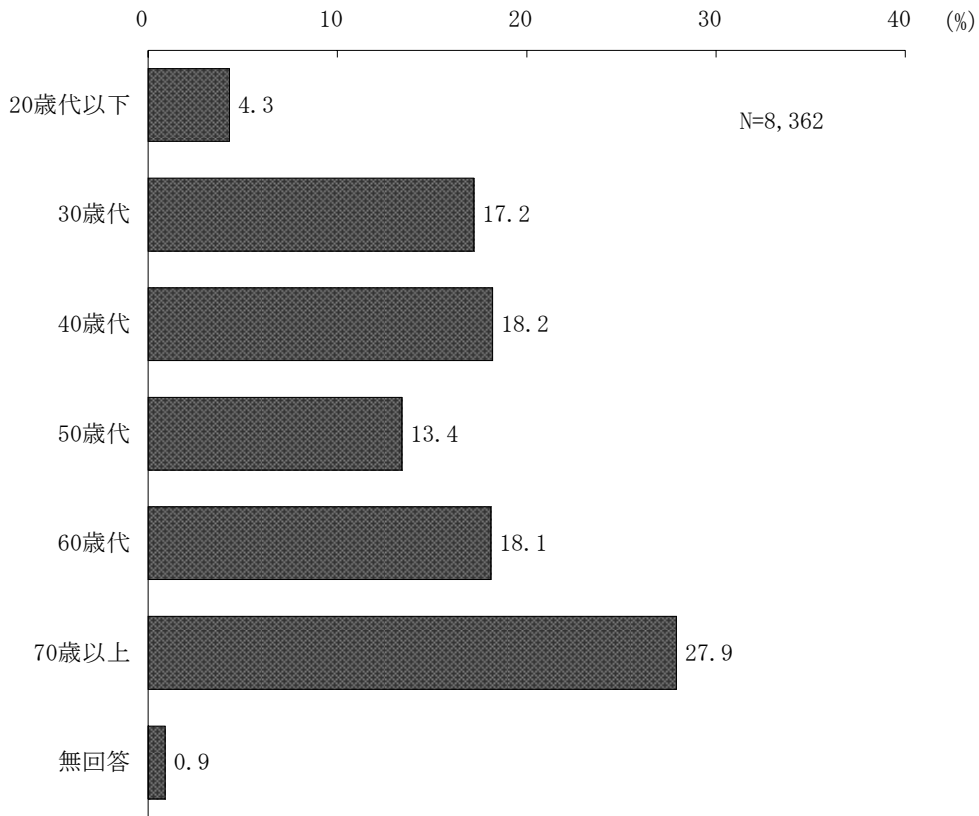
(2) 年代別

上段は基数、下段は構成比 (%)

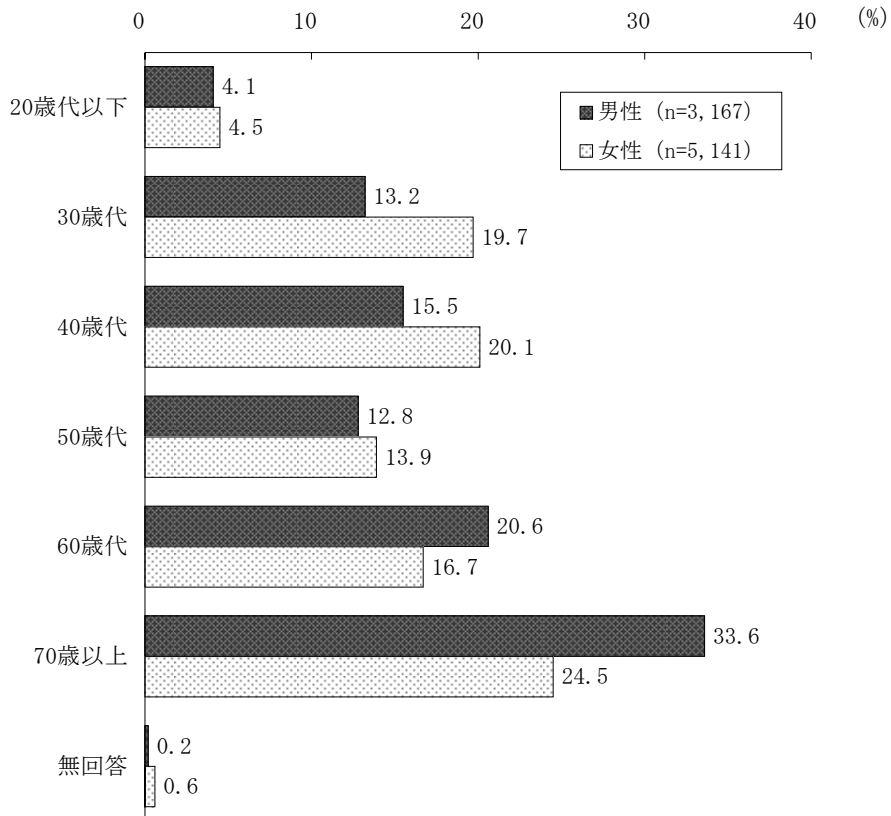
性別無回答欄を表示しないので男女の基数の計は全体と一致しない

	合 計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全 体	8,362 (100.0)	363 (4.3)	1,436 (17.2)	1,523 (18.2)	1,120 (13.4)	1,511 (18.1)	2,331 (27.9)	78 (0.9)
男 性	3,167 (100.0)	129 (4.1)	419 (13.2)	490 (15.5)	405 (12.8)	652 (20.6)	1,065 (33.6)	7 (0.2)
女 性	5,141 (100.0)	232 (4.5)	1,015 (19.7)	1,033 (20.1)	713 (13.9)	857 (16.7)	1,261 (24.5)	30 (0.6)

全体構成比



男女別構成比

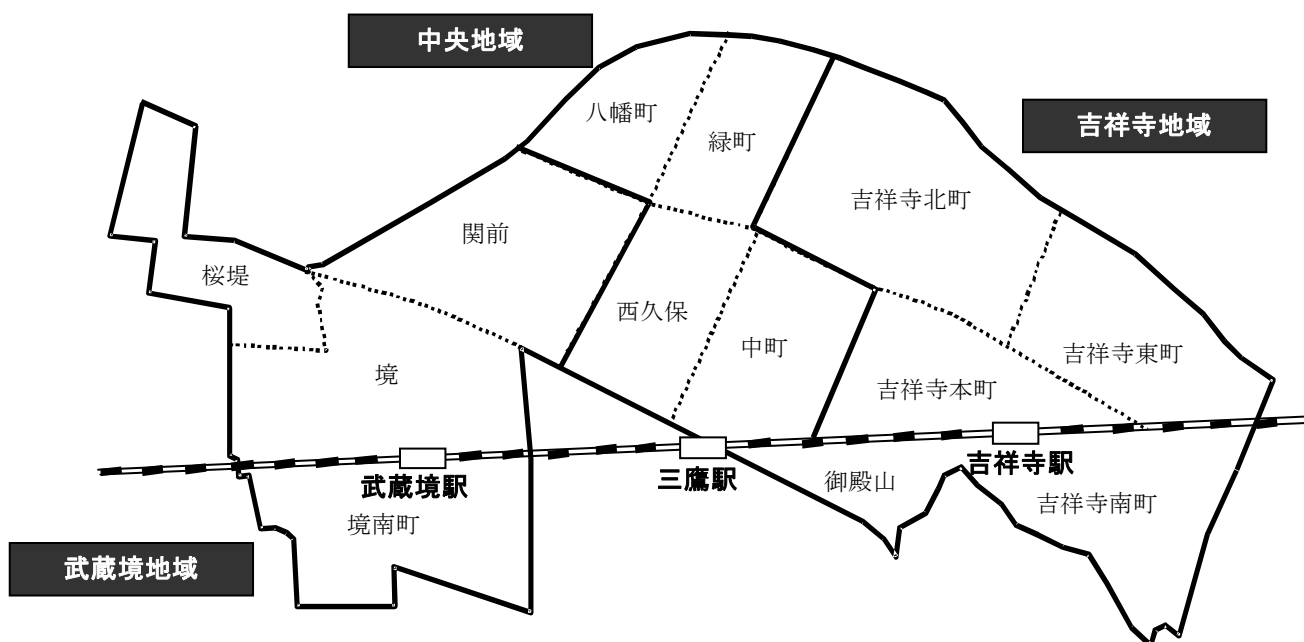
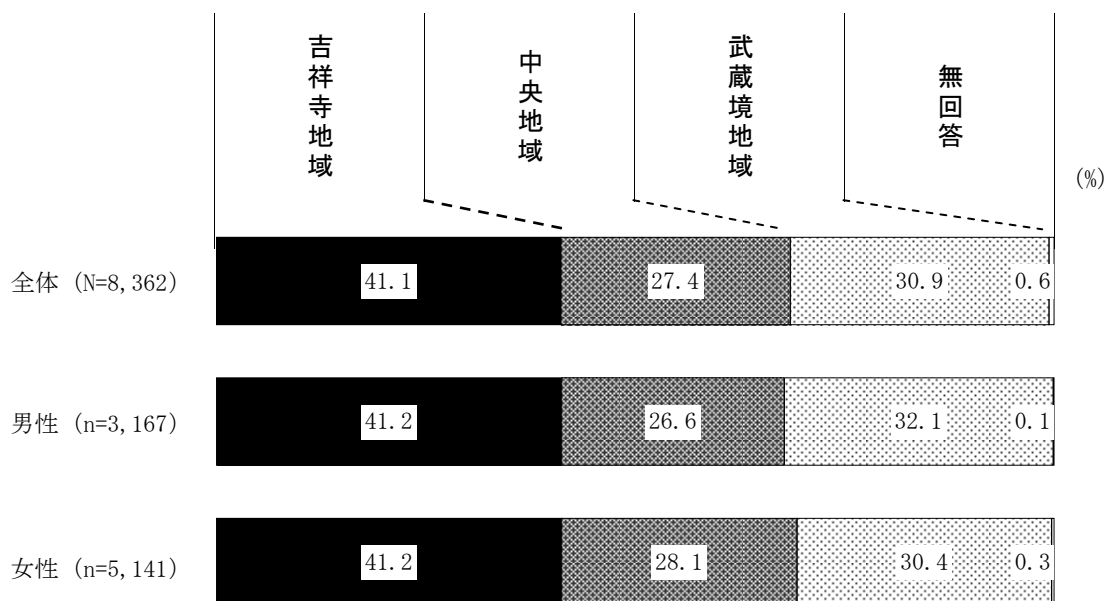


(3) 居住地域別

上段は基数、下段は構成比 (%)

性別無回答欄を表示しないので男女の基数の計は全体と一致しない

	合 計	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	無回答
全 体	8,362 (100.0)	3,435 (41.1)	2,294 (27.4)	2,587 (30.9)	46 (0.6)
男 性	3,167 (100.0)	1,306 (41.2)	841 (26.6)	1,016 (32.1)	4 (0.1)
女 性	5,141 (100.0)	2,120 (41.2)	1,443 (28.1)	1,565 (30.4)	13 (0.3)



(4) 武蔵野市の人口と構成比

※平成23年9月1日現在

■性別

	構成比 (%)	基 数
全 体	100.0	136,041
男 性	48.1	65,378
女 性	51.9	70,663

■年代別

上段は基数、下段は構成比 (%)

	全 体	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
全 体	136,041 (100.0)	38,706 (28.5)	23,872 (17.5)	20,991 (15.4)	15,729 (11.6)	16,049 (11.8)	20,694 (15.2)
男 性	65,378 (100.0)	19,566 (29.9)	11,976 (18.3)	10,396 (15.9)	7,741 (11.8)	7,603 (11.6)	8,096 (12.4)
女 性	70,663 (100.0)	19,140 (27.1)	11,896 (16.8)	10,595 (15.0)	7,988 (11.3)	8,446 (12.0)	12,598 (17.8)

■居住地域別

上段は基数、下段は構成比 (%)

	合計	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域
全 体	136,041 (100.0)	56,289 (41.4)	35,839 (26.3)	43,913 (32.3)
男 性	65,378 (100.0)	26,893 (41.1)	17,215 (26.3)	21,270 (32.5)
女 性	70,663 (100.0)	29,396 (41.6)	18,624 (26.4)	22,643 (32.0)

7 調査票（表面）

武蔵野市 「市政アンケート調査」へのご協力をお願い

3月11日に発生した東日本大震災の被害は、甚大なものとなりました。犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、武蔵野市では、「市民が主役の市政」を目指した取り組みの一つとして、昭和39年度から毎年、市内全世帯を対象に、市民ニーズの経年変化や、性別・年代別・居住地区別の傾向を把握することを目的とした「市政アンケート調査」を実施しています。

この調査によって得られた結果や、自由記載欄でお寄せいただいたご意見は、今後の市政を進めるうえでの貴重な資料として、役立ててまいります。市政への参加の一つとして、ぜひ回答をお寄せくださいますようお願いいたします。

平成23年9月

武蔵野市長 **邑上守正**

＜参考＞平成22年度「市政アンケート調査」結果 市政の中で「重点的に進めてほしい施策」上位3位(年代別)

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
第1位	自転車対策	子育て支援 ・青少年施策	自転車対策	自転車対策	高齢者福祉	高齢者福祉
第2位	子育て支援 ・青少年施策	自転車対策	小・中学校教育	高齢者福祉	計画的な 都市基盤の整備	自転車対策
第3位	安全で快適な 市民生活の確保	小・中学校教育	計画的な 都市基盤の整備	計画的な 都市基盤の整備	自転車対策	安全で快適な 市民生活の確保

*報告書は、ホームページに掲載し、市役所でも配布しています。

切りとって切手を貼らずに、**9月20日(火)**までに投函してください。

郵便はがき

料金受取人払郵便

武蔵野支店
承認

3126

差出有効期間
平成23年9月
30日まで
(切手不要)

180-8790

武蔵野市緑町2-2-28
武蔵野市役所
企画政策室 市民協働推進課
市民相談係 行



●災害への日頃の備え(自助)ができているものについて、チェック☑を入れてください。

- 3日分程度の食料や水、医薬品などを準備している。
 - いざというときに連絡を取り合える人がいる。
 - 家具は壁や床などに固定し、安全な場所で寝ている。
 - 災害用伝言ダイヤルや伝言板の利用方法が分かる。
 - 住宅用火災警報器を設置している。
 - 地域の避難所の場所を知っている。
- ＜通勤・通学をしている方について＞
- 勤め先や学校からの徒歩帰宅ルートを確認している。

「自助」「共助」「公助」を組み合わせた
災害に強いまちづくりを進めるために

- 「自助」自分や家族の身を自ら守ること。
- 「共助」地域や近隣での助け合いのこと。
- 「公助」国や自治体、消防などの機関による対策。

市では、このたびの震災を受けて、これらを組み合わせた地域防災計画の見直しや、「自助」「共助」の促進、「公助」の充実に取り組んでいます。

← 災害への日頃の備えができているものについて
左のチェック欄にチェックを入れてください。

＜調査担当＞ 企画政策室市民協働推進課市民相談係
電話：60-1829(直通)

＜市ホームページアドレス＞

<http://www.city.musashino.lg.jp/>

ご協力、ありがとうございました。
今回の調査結果につきましては、まとまり次第、市報でお知らせします。

◆ 質問

下記の ①～⑮ の番号の中で、①今後、重点的に進めてほしいもの ②市の取り組みを特に評価できるものをそれぞれ3つまで選び、右下ハガキの回答欄に番号を記入してください。

① 健康増進施策

生涯を通じた健康づくりの支援、健康診査の実施、救急医療体制の強化、予防接種など

② 高齢者福祉

介護サービスの質の向上、就労・社会参加支援、独居高齢者の安全確保、認知症対策、介護者の負担軽減、地域の見守りネットワークの推進など

③ 障害者福祉

相談事業の充実、障害者の自立・就労支援、障害児支援、ショートステイの充実、施設整備など

④ 子育て支援・青少年施策

医療費助成、保育園の拡充、私立幼稚園の支援、子育て相談事業の充実、あそべえ・学童クラブ運営など

⑤ 小・中学校教育

学力・体力の向上、心の教育、いじめ・不登校への対応、学校施設の整備、特別支援教育、学校給食の充実など

⑥ 環境・ごみ対策

地球温暖化防止対策、太陽光発電の設置助成、ごみ減量・資源化、レジ袋削減、節電対策、クリーンセンター建替え計画など

⑦ 緑化推進・公園整備

緑のネットワークの形成、公園・緑化の拡充、遊歩道や水辺環境の整備、街路樹の適正管理など

⑧ 商業・農業・経済対策

商店街の活性化、観光支援の発掘と活用、中小企業の支援、農業の振興、農地の保全、雇用対策など

⑨ 安全で快適な市民生活の確保

防犯パトロールの強化、喫煙マナー向上、落書き対策、生活公害の低減、放射能対策など

⑩ 災害に強いまちづくり

避難所の整備、公共施設の耐震補強、民間建築物の耐震化、水害対策の強化など

⑪ 生涯学習・スポーツ・文化・市民活動の支援

生涯学習・文化・平和事業の推進、図書館・スポーツ施設の整備、コミセン・NPO等への支援、男女共同参画の推進、国内・国際交流の推進など

⑫ 計画的な都市基盤の整備

良好な街並み・景観づくり、電線類の地中化、大型マンション建設の事前調整、まちのバリアフリー化、駅周辺開発整備、上下水道の再整備、住宅施策の推進など

⑬ 交通対策・道路整備

交通渋滞の緩和、ムーバスの運行、都市計画道路・生活道路の整備、外環道路計画への対応、路上看板の取り締まりなど

⑭ 自転車対策

駐輪場の確保、放置自転車の取り締まり、自転車専用道路の整備、自転車の走行マナー向上など

⑮ 行財政改革

事務事業評価の構築、夜間や休日の窓口サービス拡大、職員定数・給与の適正化、ITの活用など

切りとって切手を貼らずに9月20日(火)までに投函してください。
この回答ハガキは、各市政センターにもご用意しています。



市政アンケート調査 回答ハガキ(返信用)

◆ 質問

①「今後、重点的に進めてほしいもの」を

①～⑮ から3つまで選び、番号を記入してください。

--	--	--

②「市の取り組みを特に評価できるもの」を

①～⑮ から3つまで選び、番号を記入してください。

--	--	--

※ 統計処理に必要ですので、下欄に記入をお願いします。
氏名・住所の記入は必要ありません。

お住まいの町名	年齢	性別
町	歳	男・女

* 市政に関する具体的なご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください。